



県立福山高等学校  
図書館便り 6月号  
令和3年6月30日

福山高校では図書委員会主催で『ビブリオバトル』を年2回開催しています。昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、開催することができませんでしたが、今年度は感染防止対策を十分にとった上で開催するということになりました。ご協力、よろしくお願いいたします。

「ビブリオバトルって何？」という人もいるでしょう。1・2年生の中には小学生・中学生の時にやったことがある、見たことがある、という人もいるかもしれません。3年生は1年生の時に3人の先輩たちがバトルを見せてくれたことを覚えていますよね。全く知らない人たちにも、そして、知ってる人にはおさらいということで、ビブリオバトルについてお話します。

公式HPによると、『ビブリオバトルは誰でも(小学生から大人まで)開催できる本の紹介コミュニケーションゲームです。【人を通して本を知る、本を通して人を知る】をキャッチコピーに日本全国に広がっています。』とあります。「こういう本があるんだ」と知ることができるだけでなく、本についての語りから発表者の人となりを知ることができる、これがビブリオバトルの醍醐味なのです！

### ビブリオバトル公式ルール

※発表者のことを「バトラー」、発表を聞く人たちのことを「観戦者」と表現します。

1. バトラーが読んで面白いと思った本を持って集まる。

「おもしろい本だから、みんなにも読んでもらいたい！」と思う本を選ぼう。

2. 順番に一人5分間で本を紹介する。

「5分間って長い！」そう思うかもしれませんが、魅力を伝えるには実は短いのです！

楽しさ、おもしろさをしっかり伝えよう！ネタバレはしないようにね！

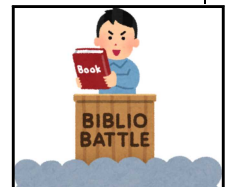
3. それぞれの発表のあとに観戦者がディスカッション(その発表に関する質問や感想など)を2～3分行う。

(例) ・その本の登場人物で、誰が一番好きですか？ ・その本を知ったきっかけは何でしたか？

・本の中で、印象的な表現やセリフはありますか？ ・その著者の他の作品は何かありますか？

4. 全ての発表が終了したあとに、「どの本が一番読みたくなかったか？」を基準とした投票を参加者全員(バトラー・観戦者)で行い、最多票を集めた本を『**チャンプ本**』とする。

(知的書評合戦ビブリオバトル公式ウェブサイト <http://www.bibliobattle.jp/>より)



1回目は7月15日(木)に開催予定です。ビブリオバトルを楽しんでくださいね！生徒の皆さん、そして先生方、バトラー(発表者)として参加し、お気に入りの本の魅力を伝えてみませんか？希望者は各学年の図書委員または図書館の伊集院までお知らせください。

オススメ!



今月 図書館に並んだ本から2冊紹介。  
読んでみませんか? 素敵な本、入ってます♪

※今月は奇蹟の本も含めて63冊の本が並びました。 ※第2弾の新刊が図書館に並ぶのは8月下旬を予定しています。

《森見登美彦さん推薦。本の魔力と魅力を詰め込んだ、空想の宝箱!》



## この本を盗む者は 深緑 野分 著

「ああ、読まなければよかった! これだから本は嫌いなのに!」

書物の蒐集家を曾祖父に持つ高校生の深冬。父は巨大な書庫「御倉館」の管理人を務めるが、深冬は本が好きではない。ある日、御倉館から蔵書が盗まれ、父の代わりに館を訪れていた深冬は残されたメッセージを目にする。“この本を盗む者は、魔術的現実主義の旗に追われる”本の呪いが発動し、街は侵食されるように物語の世界に姿を変えていく。泥棒を捕まえない限り世界が元に戻らないと知った深冬は、探偵が銃を手に陰謀に挑む話や、銀色の巨大な獣を巡る話など、様々な本の世界を冒険していく。やがて彼女自身にも変化が訪れて――。

《「治したい。でも治せない。どうすりゃいいんだ、俺。」

累計23万部突破のベストセラーシリーズ、感動の第3弾!》



## 走れ外科医 中山 祐次郎 著

若手外科医・雨野隆治のもとに急患で運ばれてきた二十一歳の向日葵(むかい あおい)。彼女はステージIVの癌患者だった。自分の病状を知りながらも明るく人懐っこい葵は、雨野に「人生でやっておきたいこと第1位」を打ち明ける。医者として止めるべきか…。友達として叶えてあげるべきか…。現役外科医が生と死の現場を圧倒的リアリティで描く、シリーズ第3弾。

※ 第1弾 「泣くな研修医」

第2弾 「逃げるな新人外科医 泣くな研修医2」

※ 『泣くな研修医』のモデルの中山祐次郎さんは、鹿児島大学医学部を卒業されている現役外科医です。研修医時代の経験を小説にされているそうです。

【お知らせ】お待たせしました! 夏休みの特別貸出を行います。

《期間》 7月15日(木)~8月27日(金)  
(8月30日からは通常貸出になります)

《冊数》 無制限(持って帰ることができる程度で)

《返却日》 9月6日(月)(厳守)

